

オーラルメディスン・口腔外科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	野村 武史	口腔癌の診断と治療
講師	佐藤 一道	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	澁井 武夫	口唇裂・口蓋裂の治療と心理に関する研究
	浮地賢一郎	口腔粘膜疾患の診断と治療に関する研究
助教	酒井 克彦	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	齊藤 朋愛	口腔上皮異形成の癌化能の診断に関する実験的研究
	三條 祐介	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	市島 丈裕	ドライマウスとドライアイその他膠原病との関連性、COPD と歯周炎の関連
レジデント	河地 誉	口腔扁平上皮癌における遺伝子多型の探索
	齋藤 寛一	口腔癌術後嚥下機能障害について
	東郷 拓也	呼吸器管理下における感染予防のための口腔ケア方法
	萩原 僚一	口唇裂・口蓋裂の治療と心理に関する研究
	木所 亮	口唇裂・口蓋裂の治療と心理に関する研究
	布施 佑磨	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	丸山 貴俊	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	木村祐一郎	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	根木沙枝子	呼吸器管理下における感染予防のための口腔ケア方法
	三島倫太郎	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	藪下 雅子	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	日高 真吾	呼吸器管理下における感染予防のための口腔ケア方法
	五月女寛明	呼吸器管理下における感染予防のための口腔ケア方法
	松本 亞弓	COPD と歯周炎の関連性について
	平賀 智豊	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	横山 梓	自己免疫性アレルギー性粘膜疾患の診断と治療に関する研究
	阿部 真和	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	今井 琴子	閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規療法の開発
	岡村 将宏	ドライマウスとドライアイその他膠原病との関連性
	田川 駿	摂食、嚥下機能に関する臨床的研究
	細川 裕貴	自己免疫性アレルギー性粘膜疾患の診断と治療に関する研究
	中村ゆり子	COPD と歯周炎の関連性について
大学院生	三邊 正樹	口腔粘膜疾患の診断と治療に関する研究
	森田 奈那	口腔粘膜疾患の診断と治療に関する研究
	池田 雄介	口腔癌の診断と治療

2. 成果の概要

- 1) 東京歯科大学市川総合病院における口唇裂・口蓋裂患者の出生前診断に対するカウンセリング
近年の診察機器・技術の進歩により口唇裂・口蓋裂が出生前の超音波検査において診断されることが多くなってきている。それに伴い出生前から患児の家族に対する心理面でのケアは極めて重要となる。そこで当院において出生前に口唇裂・口蓋裂と診断された母親および家族への対応について報告する。超音波検査により口唇裂・口蓋裂が診断された場合は院内の産科、近隣の産科問わず対応している。まず母親および家族の口唇裂・口蓋裂をもって出生してくるという不安を聞き入れてから、本学における一貫治療の流れについて説明する。しかしその内容はあえて概要を説明するにとどめ、母親および家族からの質問を受ける時間をなるべく多くとるようにしている。このような ケースはこれからますます増えていくと予想されるため、出生前カウンセリングの重要性はさらに 高まると考えられる。

2) 日本の地域要介護高齢者における誤嚥、不顕性誤嚥に関連する要因

嚥下障害は要介護高齢者にとって重要な問題である。嚥下障害を早期に発見するために、誤嚥や不顕性誤嚥の簡便な評価法が必要である。本研究では要介護高齢者を簡便な評価法で誤嚥疑い、不顕性誤嚥疑いに分類した。そして口腔機能、認知機能、身体機能、栄養状態について比較検討した。

393人の要介護高齢者(男性89人、女性304人、65~100歳)を本研究の対象とした。嚥下機能の評価に改定水飲みテスト、頸部聴診、咳テストを行った。対象者は誤嚥/不顕性誤嚥疑いに分類した。そして口腔機能、認知機能、身体機能、栄養状態が評価された。その結果50.5%が誤嚥疑い、その中の24.0%が不顕性誤嚥疑いに分類された。多変量解析にて誤嚥疑いと口唇閉鎖、舌運動、リンス能力が、不顕性誤嚥疑いと認知機能が関連している結果であった。

簡便なスクリーニング法は誤嚥や不顕性誤嚥疑いの確認に使用できる。それらは誤嚥性肺炎や嚥下障害の早期発見を可能にするかもしれない。

J Oral Rehabil. 2016 Feb;43(2):103-10. 2015

3) 舌扁平上皮癌の上皮間葉移行におけるBMI1, ZEB1の発現

背景：上皮間葉移行(Epithelial-mesenchymal transition: 以下EMT)は上皮系腫瘍の浸潤や転移における重要な現象であり、上皮細胞へ幹細胞様の性質を誘導する。組織の幹細胞の自己修復機能を制御しているBMI1、EMTの制御因子であるZEB1の発現について舌扁平上皮癌(Tongue squamous cell carcinoma: 以下TSCC)の腫瘍形成過程における役割を研究した。

材料と方法：本研究では、コラーゲンゲル浸潤モデル実験では2種類のTSCC培養細胞をまた64例の舌組織検体(舌癌32例および異型上皮32例)を用いて、BMI1, ZEB1, vimentin, E-cadherinのタンパク質およびmRNAレベルでの発現を評価した。

結果：BMI1およびZEB1は、TSCCの浸潤過程においてタンパク質およびmRNAレベルでの発現が見られた。また浸潤先端部においてBMI1とZEB1の発現の増加に伴いE-cadherinの発現の減少、さらにvimentinの発現の増加がin vivo, in vitroいずれにおいても見られており、EMTの誘導に関与していることが示された。

結論：BMI1とZEB1はTSCCの浸潤およびEMTにおいて重要な役割を担っていることが示唆された。

Oncol Rep. ;34(2):771-8, 2015

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
野村 武士	高精度分子診断に基づく高播種性・難治性口腔扁平上皮癌に対する個別化化学療法による再発および遠隔転移制御に関する研究	信州大学	松本市	栗田 浩
野村 武士	唾液腺癌に対するTS-1補助化学療法の有効性に関する研究	信州大学	松本市	栗田 浩

4. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
三邊 正樹	2015. 10. 18	優秀口演発表賞	上皮組織特異抗体によるドラッグデリバリーシステムを用いた口腔癌治療モデルの開発	第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会
栗原 絹枝	2015. 10. 18	優秀ポスター賞	下顎歯肉扁平上皮癌の上皮間葉移行における BMI1, ZEB1 の発現	第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
野村 武史	2015. 10. 17	口腔進行がん - 浸潤と転移 -	第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会	名古屋市
野村 武史	2016. 1. 22	エナメル上皮種診療ガイドライン 歯原性腫瘍ガイドラインWG 3 の活動報告	第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	横浜市
三條 祐介	2015. 9. 12	誤嚥性肺炎の地域連携	21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会	京都市

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
野村 武史	2016. 2. 27	口腔癌の診断と治療 - 上顎歯肉癌を中心に -	第 45 回 (公社) 日本口腔外科学会教育研修会 / 口腔四学会合同研修会	横浜市
佐藤 一道	2015. 7. 4	UCLA 歯学部 海外出張報告	日本睡眠歯科学会 第 10 回睡眠歯科医学エキスパートセミナー	宇都宮市
佐藤 一道	2015. 11. 22	OA 診療ガイドラインについて	日本睡眠歯科学会 睡眠歯科医学基礎講座 入門編	豊明市

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
野村 武史	2015. 4. 18	がん医療の現場で 20 年	東京歯科大学同窓会 市川・浦安支部講演会	市川市
野村 武史	2015. 6. 1	進行口腔がんの治療「下顎歯肉癌に対する手術」	OCDSIN アドバンスコース	市川市

野村 武史	2015. 7. 15	周術期口腔機能管理を利用した地域包括医療の構築 院外パスを利用した病診連携の構築	第2回市川リレーションシップカンファレンス	市川市
野村 武史	2015. 10. 28	地域包括医療に向けた病院歯科の取り組み（周術期口腔機能管理を中心に）	渋谷区歯科医師会・TDC 渋谷学術講演会	東京都渋谷区
野村 武史	2015. 10. 31	口腔粘膜疾患の診かたと口腔がんの早期発見-患者に安心を与えるために	横浜市緑区歯科医師会師会定期学術講演会	横浜市
野村 武史	2015. 11. 7	口腔粘膜疾患と口腔がんの早期発見-病診連携の強化を目指して	船橋東歯会講演会	船橋市
野村 武史	2015. 11. 13	乳癌患者に対する口内炎対策	ABC Forum CHIBA	千葉市
野村 武史	2015. 11. 20	早期がんを見逃すな ー蛍光観察装置の臨床応用にむけてー	第603回例会 理工懇談会	東京都千代田区
野村 武史	2015. 12. 12	市川総合病院 ー変えたいこと、残したいことー	市川浦安市部 金曜会講演会	市川市
野村 武史	2016. 2. 17	もう一つの東京歯科大学 ー地域包括医療に向けた市川総合病院の取り組みー	同窓会千代田支部（三水会）学術講演会	東京都千代田区
野村 武史	2016. 2. 19	早期がんを見逃さないように ー口腔粘膜疾患の診かたと口腔がんの早期発見ー	印旛郡市歯科医師会成田地区 第2回在宅訪問歯科診療事業研修会	成田市
野村 武史	2016. 3. 26	地域包括ケアを見据えた高齢者歯科医療	千葉市同窓会（水葉会）	千葉市
野村 武史	2016. 3. 9	口腔ケアパスの構築に向けて、市川総合病院角膜センター	第7回市川リレーションシップカンファレンス	市川市
佐藤 一道	2015. 7. 16	閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する上下顎骨前方移動術の現状	第15回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会	東京都千代田区
佐藤 一道	2015. 8. 28	Translational Research	口腔がん専門医養成コース 初期研修ワークショップ	東京都千代田区
佐藤 一道	2015. 9. 9	UCLA 海外出張報告	市川市歯科医師会講演会	市川市
佐藤 一道	2015. 10. 3	地域医療連携について ー口腔がんや前癌病変の取り扱いと偶発症の対応ー	島田・榛原歯科医師会主催学術講演会	島田市

酒井 克彦	2015. 8. 28	摂食嚥下リハビリテーション	口腔がん専門医養成コース 初期研修ワークショップ	東京都千代田区
酒井 克彦	2015. 10. 29	誤嚥性肺炎を防ぐ口腔の管理	中村歯科医院 第6回地域医療講演会	熊谷市
酒井 克彦	2015. 12. 10	がん治療に伴う口腔合併症	国際親善病院周術期口腔管理勉強会	横浜市
三條 祐介	2015. 7. 15	周術期口腔機能管理の院内連携	第2回市川リレーションシップカンファレンス	市川市

5. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育ワークショップ・FD 研修

講演者	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
野村 武史	2015. 9. 26-27	第33回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	タスクフォース	東京都千代田区
澁井 武夫	2015. 9. 26-27	第33回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	タスクフォース	東京都千代田区

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
澁井 武夫	2016. 2. 27-28	平成27年度東京歯科大学第4学年 OSCE	内部評価者	東京都千代田区
澁井 武夫	2016. 3. 4-5	平成27年度九州歯科大学第4学年 OSCE	外部評価者	北九州市

6. 社会的貢献・社会に対する活動

医学の啓蒙を目的とする講演会（市民を対象とするもの）

講演者	年月日	演題	講演会名	開催地
野村 武史	2016. 2. 24	意外と知らない心臓病とお口の関係	ベネッセ地域医療セミナー	市川市